

HIRAGUSHI H BALLE 2019

第69回 平櫛バレエ岡山公演

★創作バレエ★

「ファンタージェンの女神」

— 空想から生まれたファンタージェンの国に住む、神と人間と動物たちの物語 —

●2019年4月28日(日) 2:00pm ●岡山市民会館

[主催]平櫛バレエスクール岡山 [後援]岡山県・岡山市・(公財)岡山市スポーツ文化振興財団・山陽新聞社・RSK山陽放送

●入場料:2,000円 ●お問い合わせ:平櫛バレエ本部 電話084-934-4180 <http://www.h-b-s.co.jp/>



2017~2018「クリシュナの剣」より/PHOTO:テス大阪

創作バレエ「ファンタージェンの女神」

あらすじ

— 空想から生まれたファンタージェンの国に住む、神と人間と動物たちの物語 —

プロローグ 天上

空想から生まれた国ファンタージェンでは、神々に仕える天上の乙女たちが愛の女神を囲んで楽しげに舞い踊り、優雅な時が流れている。

第1景 カーニバルの贈り物

ファンタージェンのある村の広場に、カーニバルを楽しむ子供たちが大勢集まって来る。村の子供たちの中でもピエロに扮した子供たちは、華やかな衣裳で着飾ってカーニバルを盛り上げようと元気いっぱい踊り回る。普段は仲間と一緒に遊んでいる貧しい少女はピエロの衣裳を作ってもらえず、ぼつんと一人寂しそうに友人たちの踊りを眺めている。そこへカーニバルを楽しむ村人たちが現れ、悲しげな少女の姿を見ると、おのおのに端切れ布を持ち寄って少女に与える。カーニバルが盛り上がりだすと魔女に扮した村人たちが華麗に舞い始め、村人たちが貰った布を継ぎ接ぎしてピエロの衣裳を作って貰った貧しい少女がピエロに扮した子供たちと一緒にカーニバルの中心に進み出て踊り出し、村のカーニバルは夜が更けるまで続く。

第2景 妖精の住む森

ファンタージェンの森に住む鳥たちは、木々の間を楽しそうに羽ばたいている。森の中ではラズベリーが枝いっぱいに実を付け、その実を求めて一頭の熊が現れる。一人の少女が落ち葉の舞い散る森の小道を楽しそうに散歩している。さらに奥の森には樹の精が怪しげにたたずみ、狩りに来た王子が道に迷って帰り道を探しているところに森の妖精と妖精の女王が現れ、王子に魔法をかけて森の中に閉じ込める。囚われた王子が一人で途方に暮れているところに少女が通りかかる。囚われた王子は「人間の世界に戻りたい」と少女に助けを求める。妖精の女王が再び現れて森の妖精に命じて王子を連れ去ろうとするが、少女が王子に言われたとおり必死に王子の手を離さないように耐えていると、妖精の女王はついに諦めて王子を解放し、森の妖精とともに樹の精を引き連れて森の奥深くへ姿を消す。王子と少女は森の鳥たちの祝福を受ける。

第3景 羊になった羊飼

ファンタージェンの丘に広がる草原では、アリの群れが列をなして働いている。草原の風に乗って舞飛ぶ一匹のチョウを追いかけるように、羊飼いの青年ティルスが現れる。その後には羊の群れを引き連れて美しい羊飼いの娘フィルスが現れる。フィルスに恋をしているティルスは、彼女に何とか近づこうとするが、青年の姿は羊を夢中で愛でている娘の目には入らない。やがて娘は羊の群れとともに家路につく。夕暮れの空にはコウモリが飛び交い、一人残された青年は闇に包まれ、あたり一面孤独に充ちたティルスの夜となる。闇の中から愛の女神が現れると、ティルスは「羊の姿になって恋するフィルスの傍らに寄り添いたい」と懇願する。夜が明け、愛の女神の魔法で羊になった羊飼いは、自分の姿を見て大喜び。野バラが咲き乱れる草原を駆け抜けて、恋するフィルスのもとへ急ぐ。濃く美しい羊の姿になったティルスはフィルスに大変可愛がられるが、犬を連れてもう一人の羊飼いの青年タモンが現れて楽しそうにフィルスと言葉を交わしている姿に嫉妬する。ティルスが「もう一度人間の姿に戻りたい」と心の中で強く願うと、愛の女神が再び現れ、魔法を解いて元の青年の姿に戻す。フィルスはティルスの愛を受け入れ、祝福の舞が澄み切った青空の下で繰り広げられる。

ヒラグシ モダンダンス カンパニー



アンヌ・ヒラグシ



平櫛育子



山本 文



小林江里



菱川美沙



大賀菜々美



大塚 暁

平櫛バレエ/ヒラグシ モダンダンス カンパニーの歩み

- 1937年 平櫛安子、東京 石井小浪舞踊団に入団。のち石井漢門下となる。
- 1942年 平櫛安子、郷里福山に帰郷研究所を開設。のち広島・岡山・香川・高知・兵庫県下約20の分教室を設置。
- 1951年 平櫛バレエ団（現ヒラグシ モダンダンス カンパニー）設立。
- 1960年 アンヌ・ヒラグシ、チャイコフスキー記念東京バレエ学校に入学。
- 1962年 文部省芸術祭参加公演「源氏物語」（東京厚生年金会館）。
- 1966年 文部省芸術祭参加公演「邪馬台国の女王」（東京都センターホール）。
- 1971年 アンヌ・ヒラグシ、ニューヨーク留学。マーサー・グラハム スクール並びにジュリアード スクールに入学。米政府奨学生となる。
- 1973年 文化庁芸術祭参加公演「尼僧ヨアンナ」（東京郵便貯金ホール）。
- 1974年 「アンヌ・ヒラグシ ワンマンショー」（東京VANホール）。
- 1976年 文化庁芸術祭参加公演「六知」（東京ヤクルトホール）。同公演において「芸術祭優秀賞」受賞。芸団協より「特別新人賞」受賞。
- 1977年 アンヌ・ヒラグシ、文化庁在外研修員としてニューヨーク他へ国費留学。
- 1979年 舞踊誌テス主催による焼国公演「いまだ光をはなたざるとあまたの光りあり」（東京三百人劇場）。
- 1980年 文化庁助成「現代舞踊公演」（福山市民会館）。
- 1981年 文化庁芸術祭参加公演「輪廻」（東京郵便貯金ホール）。同公演において「芸術祭優秀賞」受賞。
- 1987年 平櫛安子舞踊生活50周年記念公演「あさきゆめみし」（福山市民会館、倉敷市民会館）。
- 1988年 平櫛安子、秋の叙勲において勲五等宝冠章を受章。
- 1995年 ふくやま芸術文化ホール リーデンローズ 開館記念公演「リーデンローズバレエ フェスティバル」において「ライブ」初演。
- 2015年 アンヌ・ヒラグシ、村上カヨ記念基金による善行市民表彰において福山市より「文化賞」受賞。

HIRAGUSHI BALLE 2019

ファイナル公演

★創作バレエ★

「ファンタージェンの女神」

— 空想から生まれたファンタージェンの国に住む、神と人間と動物たちの物語 —

- 演出・振付・音楽編集/アンヌ ヒラグシ
- 制作監督/平櫛真一（HBS）
- 舞台監督/田和伸二（タワ スタッフ コラボレーション）
- 衣裳製作/HBS衣裳製作部
[衣裳協力] 小川清美・高橋政子・江種みゆき
- 舞台美術・照明・音響/HBS舞台製作部
[美術協力] 佐藤孝洋
- 操作技術/[舞台] タワ スタッフ コラボレーション
[照明] 大山千代美
[音響] 橋本朋久（HBS）
- 記録/[写真] 有限会社テス大坂
[ビデオ] 株式会社イーソービデオ企画
- 印刷/株式会社アルネット

【公演日程】

- 2019年 3月17日 2:00 pm ふくやま芸術文化ホール リーデンローズ
- 2019年 4月14日 2:00 pm 倉敷市民会館
- 2019年 4月28日 2:00 pm 岡山市民会館
- 2019年 5月12日 2:00 pm 笠岡市民会館
- 2019年 6月 2日 0:30 pm 尾道 しまなみ交流館 テアトロシェルネ
- 2019年 6月 2日 5:00 pm 尾道 しまなみ交流館 テアトロシェルネ



創立77年、平櫛バレエ最後の公演となりました。

お客様を始め関係各位の長期にわたる厚いご支援に、心より感謝申し上げます。

HIRAGUSHI BALLET SCHOOL 平櫛バレエスクール本部

〒729-0111 広島県福山市今津町5-10-31
phone : 084-934-4180

URL <http://www.h-b-s.co.jp/>

福山・松永・東陽台・尾道・因島・井原・岡山・倉敷・笠岡